

警察の力に守られた医当局・川谷執行部に対する “全面服従への踏み絵”の強制

医学部検閲体制を全学的史起て粉碎せよ

●脚注上記直下不「大構造者名」、タレ札着用」の屈辱的
権門をわれりれられけ、断固てに不出すよう！
厚生土學す限止工に附する結果醫士請問、取り調べべと
糾弾せり。

冊ツ、序と後追削粉碎せ。

今朝への学生・院生・教職員一君

医は斗は、医道として病院の戒厳状況を突きする全學的激起を呼びかける。

昨日、医当局は「30、入り以来の日振りに学生力立へり解除を告げつゝ、一方では小谷・長谷検閲体制への従の註シ、学生に召礼着用・ハガキの署名を^約一筆ム宣傳の包団の下で強制し、黙給正看医連々立入り禁止を続けそいる。

彈圧の嵐は、医只子に襲ひ、更に学生により一層熾烈にかけられてゐる。且つ厚生学院生は、一人づゝ密室に呼び出され、玉木学院長・助川訓^約員・学院管理員10名が寄つてかかつて「教育」と「美名にわくれて、喝喰、脅迫、自白強要等の精神的請問を徹底に行つてゐる。ハこのよくな当局^の「教育」だから、学院生は決起したが、医当局は、検閲包団の下で、医大士運動の提起した根源的意義と斗う部分の抹殺に荒れ狂い、強權的に权威の回復をはからうとしている。彼らは、「秩序回復」、「社会的責任」^を緯の御旗に、取扱权力の保存・医局構造制のヒエラルキーを持ち込んで、医学部委志決定採用準備の手をテッキあげ、近代化の裝をぎぬしつゝ、病院の合理化營利化を一挙的に達成へとこどらざる。

かかる近代化・合理化は、ひどくも彈圧・犠牲によつてなされ、なされよつとしているが、全學生・無縫医の100以上のロツクアウー、約20名が逮捕・6名の起訴・教員会・行部のロツクアウトリレッド・パニー・眞實に対する體質強制・院内の宣伝集会・活動の禁止であり、病院合理化・看護の強制配転を皮切りに病棟統合・医局の近代的西編を助け、看護婦の人員削減・剪切強化・管理強化を行ひ、現無給医の分断を看護医・臨床研究生成制度の導入で企図し、下級医師との形成をはかるものとして登場してゐる。市民病院化構想は、プランとはなく、具体的に実行されてゐる。我々の斗い、即ち、医共^一書医運動とその質的飛躍として結成される病院学生講議会運動の存在をさきんしく、医療の帝國主義的西編に斗う部隊を語り得えない以上、我々は、この全面的政勢に死力を尽して斗うことを宣言する。

全市大の専用者・院生・学生諸君、日本医学の彈圧体制をはるかに上廻るアヤノ恐怖政治は、我々にだけではなく、諸君達にかけられてゐる攻撃だ！

医学部斗争への狂氣の弾圧・抑圧は、市大のすやでの専用者院生に対する弾圧・抑圧だ。諸君らは、統一団文要求から、実力斗争に裏打ちされた全學斗争で、全ての帝國主義的支配に斗う主体を確立せよ！

全市大の諸君！ 激烈に走りと増一歩もて、斗争意志を打ち固め、全學的実力斗争で次起し、佐藤帝國主義内閣の忠実な大¹裏腹投げ会・小谷・長谷・裁判を打破せよ！

我々医共斗争・看護・教員専用者を離れて、日本医学の下に、刊行部

医共